

平成 28 年度全社学社会科授業研究プロジェクト事業報告

社会科授業研究ワークショップ「社会科授業研究の語りを拓く 2」

日時：平成 29 年 3 月 18 日（土曜）13:00~17:00

場所：大阪大学中之島センター 4 階 406 多目的室

1. ワークショップの展開

13:00 ~ 13:10 オープニング 趣旨説明 梅津正美

13:10 ~ 14:00 第 1 部 トークセッションによる視点づくり

コーディネーター 南浦涼介

徳島大学（元鳴門教育大学附属小学校）の坂田大輔先生から「社会的判断力育成の授業づくりと実践」についての基調報告いただいた後、南浦涼介コーディネーターとの対談形式により、坂田先生の授業づくりのこだわりや教師が置かれている状況的葛藤、その乗り越え方等を明らかにしていった。

14:00 ~ 14:10 休憩

14:10 ~ 15:20 第 2 部 参加者によるワークショップ

コーディネーター 峯 明秀・中本和彦

1 部において形成された「社会科授業の語り」の視点をふまえ、参加者が 4 つの小グループに分かれ、ワールドカフェ方式で、授業づくりの「こだわり（理念）」「引っかけ（状況的葛藤）」「葛藤の乗り越え方」等を共感的に語り合った。

ワークショップの課題は、「学習者自身が自分の考えを発表できるように、先生はどのような工夫をしていますか」とした。ワークショップの締めくくりとして、4 チームの観点と成果について、作成した模造紙を基に発表して頂いた。

15:20 ~ 15:30 休憩

15:30 ~ 16:40 第 3 部 総括としての「社会科授業研究」の語りの未来と可能性
(406 室) 進行役：加藤寿朗

山口大学・吉川幸男先生による講演（50 分）

具体的には、第 1 部・第 2 部の展開をふまえつつ、要領改訂を見据えるとともに、学校現場の状況に応え得る社会科授業研究のあり方や展望について、吉川先生のご見解を論じていただいた。

加藤先生の進行のもと、吉川先生の講演をふまえつつ、ワークショップ全体を通じた質疑の時間をフロアとともに持った。（20 分）

16:40 ~ クロージング 全体総括 全社学副会長 木村博一先生

2. 参加者人数 28 名(名簿記載分)

3. ワークショップの様子（写真）や第 2 部において参加者作成の模造紙については、全社学 HP で公開中